

目的・
目標

- ☆本に則した教材開発を行い、特別支援を必要とする現場の先生方、子供たちにとってよりよい教育環境を開発します。

対象とする
知的障害者用
著作教科書

小学部さんすう(☆、☆☆、☆☆☆)
中学部数学(☆☆☆☆、☆☆☆☆☆)

取組概要

■令和7年度での取り組み内容

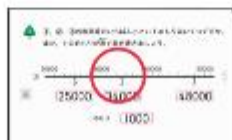
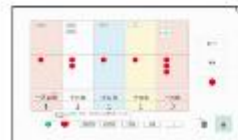
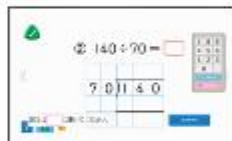
令和6年度から開発していたコンテンツを拡充し、☆~☆☆☆☆☆までのすべての教科書と幅広いコンテンツを作成しました。
(コンテンツリスト別添)

☆本の各ページをデジタル上で閲覧ができるように仕上げ、そのうえで各教科書のページごとに実際に文字を入力したり、線を結んだり、文章を読み上げる機能を実装したり、各ページの解説動画を充実させるなど、デジタル教科書学習をサポートするコンテンツを充実させました。

開発したものを授業実践でも活用してもらい、授業で使いやすい教材を開発いたしました。

またデジタル版のさんすうセットを開発し、実物のさんすうセットを扱えない子供でもデジタル上で活用できるようにしました。

☆本 さんすう もくじ



🔊 お金を、ならべてみましょう。

8円					100円				
17円					120円				
32円					250円				
50円					360円				
70円					410円				
90円					500円				

1 10 50 100 500

開発しているデジタル教材の概要



★本の紙面をWebブラウザで見ることができる
「ビューア」

★本の指導内容に関連する教育コンテンツが利用できる
「コンテンツ」を開発しました。

また、さんすうにおいては「さんすうせっと」の
デジタル版を開発しました。



アナログのさんすうせっとがデジタルで代用可能なコンテンツ



★本ビューアのコンテンツボタンをクリックすると、コンテンツがはじまります。



本事業の成果

各☆本のさんすう・数学のコンテンツを令和6年度の18から令和7年度に92を新たに開発・追加実装し合計110のコンテンツにしました。

☆本全ページのビューアも実装し、各ページに計算式や回答、補助線などを直接書き込むことができるようにし、授業に活かせるものにすることができました。



さんすう☆☆☆「ながいみじかい」



授業の様子



課題 ・ 今後の 展望

【課題】

- ・公開から2年以降の継続的な運用や更新の体制構築をどうしていくか
- ・新たに出た要望の追加開発対応をどうしていくか

【今後の展望】

- ・☆～☆☆☆☆の活用広報を行い、他科目でも同様に使えるように整備していく

開発した
アプリ等
のURL

さんすう・数学 <https://hoshi.my-spnote.jp/?subject=math>



本QRコードからも
アクセス可能です。